



## (27) 普及期の携帯インターネット

野村総研(上海)咨询有限公司

中国インターネット信息中心(CNNIC)は、5月15日に、初の携帯インターネットに関する統計調査レポート「2007年中国WAP発展状況調査報告」を発表した。これまで、PCインターネットの調査統計を行ってきたものの、携帯インターネットのレポートは初めてである。

「WAP」とは、「Wireless Application Protocol」の頭文字であり、携帯電話などの移動体端末用の通信プロトコルで、インターネット上のWAP用に作られたコンテンツを表示することができる。「WAP」方式は現在の携帯インフラで実現可能であり、将来の3Gインフラでも応用されると見込まれている。

### ホワイトカラー、学生が利用

このレポートによると、07年3月末現在、中国WAPアクティブユーザー(最近の半年間でWAPを使用したユーザー)は3900万人に達している。PCインターネットユーザー数と比較すると、WAPアクティブユーザー数は01年末のPCインターネットユーザー数以上の規模である。PCインターネットユーザーは、01年から02年にかけて急成長の軌道に乗っており、携帯インターネットも同様の普及をたどることが予測される。

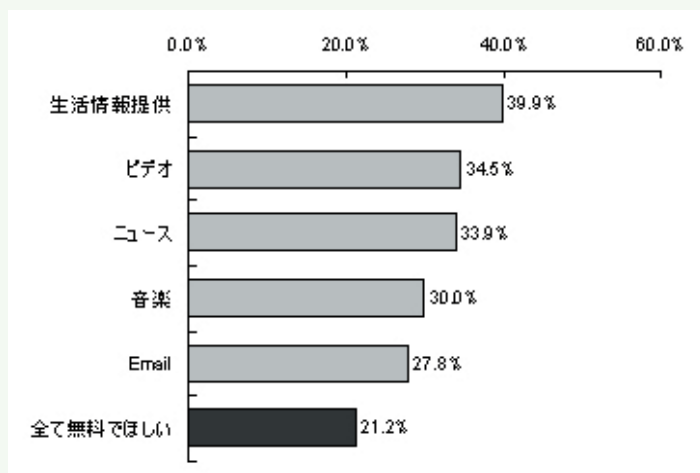
WAPユーザーの地域分布は東部：中部：西部=60.8%：24.1%：15.1%となっており、中国における経済規模と一致している。東部の中では、広東省に970万人、北京と上海にそれぞれ170万と130万人である。広東省には多くの出稼ぎワーカーがいるため、携帯コンテンツの消費量が多いといわれているが、WAPの場合は異なり、ホワイトカラーと学生のユーザーが多いと今回のレポートは明らかにしている。

### 有料でも使いたいコンテンツ

中国のWAPサイトの数は約6.5万サイトで、大きくは3パターンに分けることができる。(1)中国移動のポータルサイト「移動夢網」とそのジャンル別のサイト(2)「Sina」、「Sohu」などのPCポータルサイト系のWAPサイト(3)「3G門戸」などの無料サイトである。(1)のみが中国移動の公式サイトであり、(2)および(3)は非公式の勝手サイトである。

レポートによれば、WAPユーザーの不満は主に2点に集中している。一つ目はページを開くのに時間がかかりすぎてつらい、二つ目はまだ低速なのに費用が高いことである。また、WAPユーザーの2/3は月に6~50元を払っており、将来3Gになりインフラ環境が改善されても、50元以下にキープしたいと答えるユーザーが72%と圧倒的である。また、有料サービスとして使いたいジャンルはグラフの通りだ。

### 3G時代に有料でも使いたいサービスの種類



中国ユーザーは徐々に携帯インターネット(WAP)を使うようになってきており、ユーザーの理解と経験は進んでいる。今後、3Gが導入されインフラ環境も整うことから、ユーザー数は急速に拡大し、本格的な普及段階を迎えることと思われる。しかし、有料でも使いたいと思われるようなキラーサービスはまだ見つからない。WAPサービスが本当に利用され、市場として立ち上がるためには、中国市場にふさわしいキラーサービスの開発、および定額使い放題などの料金体系を早速に検討することが重要であろう。(野村総研(上海)咨询有限公司 主任コンサルタント 唐榮/主任コンサルタント 葛島知佳)

(出所)「2007年中国WAP発展状況調査報告」